

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	よつばきっず		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 3月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		2026年 3月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	① 一人ひとりに合わせた丁寧な個別支援	① スモールステップでの目標設定 成功体験を積み重ねられるよう課題を細分化し、自己肯定感を育む支援を行っている。	① 本人主体の支援の強化 自己決定や意思表出をより支援計画に反映させる仕組みづくりを進める。
2	② 安全管理・委員会体制が整備されている	② 委員会活動・研修の定期実施 虐待防止・身体拘束適正化・感染症対策などを定期開催し、職員全体で共有している。	② データに基づく支援評価 記録と目標をより明確に連動させ、成果の見える化を行う。
3	③ 保護者との連携が密で相談しやすい環境	④ 保護者への丁寧なフィードバック 連絡帳や面談を通して家庭と情報共有し、家庭支援も意識している。	④ 地域との連携強化 学校・相談支援専門員との定期的な情報共有を推進する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	① 地域機関との連携機会が十分とは言えない	① 日常業務が優先となり、外部との情報共有や協議の場を設ける時間が限られている。	① 地域連携の強化 ・相談支援専門員や学校との定期的な情報共有の機会を設ける ・自立支援協議会や地域研修への参加を検討する
2	② 職員の経験年数や支援力にばらつきがある	② 職員構成の変化や退職・異動等により、支援経験の差が生じやすい。	② 職員育成の仕組み化 ・内部研修の年間計画作成 ・ケース検討会を定期開催し支援力の標準化を図る
3	③ 業務量が多く、振り返りや検証時間が不足しがち	③ 記録・送迎・保護者対応などの業務が多岐にわたり、計画的な振り返り時間の確保が難しい。	③ 業務効率化と振り返り時間の確保 ・記録様式の統一・簡素化 ・役割分担の見直し ・月1回の振り返りミーティングの定例化